

一歩でも

二歩でも

核兵器のない世界のために

いっしょに あるきましょう

平和行進の歴史

ダイジェスト

- 1945 8 米、広島、長崎に原爆投下
- 1946 1・24 国連第1回総会、第1号決議で「原子兵器の廃棄」求める
- 1950 3 原子兵器完全禁止ストックホルム・アピール署名よびかけ
- 1954 3・1 米、ビキニ環礁で水爆実験、第五福竜丸被災 原水爆禁止署名、全国に広がる
- 1955 8 広島で第1回原水爆禁止世界大会
- 1958 4・20 ロンドンから核兵器工場のあるオルダーマストンへ1万人平和行進(イギリス)
- 6・20 広島ー東京1000km平和行進(第1回国民平和行進)
- 1970 3 核不拡散条約(NPT)発効
- 1985 2・9 核兵器廃絶を求める「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」国際署名開始(2000年に日本で6000万こえる)
- 1986 3 アメリカ大陸横断核廃絶大行進
- 1987 5・6 平和行進30周年国民平和行進ー東京・夢の島を出発
- 8・3 原水爆禁止世界大会が「平和の波」国際共同行動提唱、世界51カ国で実施
- 1988 4・1 第3回国連軍縮特別総会(SSDⅢ)に向けて「広島・長崎の火」リレー出発
- 1995 5 NPT再検討会議、条約の無期限延長を決める
- 1998 5 インドとパキスタンが核実験
- 2000 5 NPT再検討会議で核保有5カ国が「核兵器廃絶の明確な約束」受け入れ
- 2005 5 NPT再検討会議
- 2006 10・9 北朝鮮核実験
- 2007 5・6 50回目の国民平和行進
- 2008 3・23 50周年オルダーマストン平和行進(イギリス)
- 5・6 50周年国民平和行進(8割をこえる自治体を通過)
- 2010 5 NPT再検討会議・ニューヨーク行動

5月6日(木)、2010年国民平和行進が東京・江東区の「夢の島」を出発し、被爆地・広島へとむかいます。行進は、国民の非核の願いをあつめ、8月の原水爆禁止世界大会へと届けます。同じ期間、北海道や沖縄など、各地からも行進が出発し、全国11の幹線コースを広島・長崎へとむかいます。共通の目的、それは、「核兵器のない世界」を実現することです。

1958年、一人の宗教者が原水爆禁止を求めて広島から東京に向かったことからこの運動ははじまりました。それ以来52年、行進は毎年休むことなくおこなわれ、核兵器禁止の願いを全国から被爆地へと届けています。

ことしの平和行進には、内外から特別に大きな期待がかけられています。5月、ニューヨークの国連本部では、世界各国の政府が核不拡散条約(NPT)再検討会議を開きます。問われるものは、10年前に核保有5カ国政府がおこなった「核兵器完全廃絶」の約束の実行です。

日本からも被爆者をはじめ、2000人に近い人たちがニューヨークにいき、日本原水協の代表団は核兵器禁止条約の交渉開始を求める1200万の署名を提出します。国民平和行進は、毎日、日本国民の非核の願いを世界に発信し続けます。

8月、広島・長崎で開かれる原水爆禁止世界大会へ、私たちは毎日歩き続けます。一歩でも二歩でも、核兵器のない世界のためにともに歩きましょう。

